

(別紙)

評価細目の第三者評価結果（保育所）

※すべての評価細目（55項目）について、判断基準（a・b・cの3段階）に基づいた評価結果を表示する。

A-1 子どもの発達援助

		第三者評価結果
1-(1) 発達援助の基本		
1-(1)-① 保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている。		a (b) c
1-(1)-② 指導計画に基づく保育実践の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画の見直しを行っている。		(a) b c
コメント		
<p>・保育計画は、佐世保市立保育所6箇所の所長が集まり、毎年作成をしている。地域との関わりに関する項目などは、各保育所ごとにその特性を生かし、計画を作成している。保護者アンケートなどで意向を聞く機会があるが、保育計画の内容には十分考慮されていない。今後保護者の意向を保育計画に考慮することが望まれる。</p> <p>・指導計画はクラス単位で話し合い作成し、月1回評価を行っている。今後はクラス単位ではなく、全職員(パート・臨時職員も含む)で評価を話し合いたいとの意向がある。</p>		
1-(2) 健康管理・食事		
1-(2)-① 登所（保育所）時や保育中の子どもの健康管理については、マニュアルなどがあり子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施されている。		a (b) c
コメント		
<p>・登所時の保護者との情報交換で日々の健康状態を確認している。また、保健日誌に子どもの体調悪化・けがなどを、看護師が記録し、連絡帳に記載している。</p> <p>・投薬が必要な子どもは、毎朝保護者が与薬依頼書に記入し、保育士に預ける。看護師が、各クラス担任より引継ぎを受け、昼食時に与薬している。</p> <p>・体調がすぐれない子どもは、職員室のベットに静養できるようにしている。</p> <p>・看護師不在時にも、一貫した健康管理を行う為に、それぞれの職員が必要な知識を習得し、万一の際も適切に対応できるよう、マニュアルを作成し、定期的な研修を行なうことが望まれる。</p>		

	第三者評価結果
1-(2)-② 健康診断の結果や子どもの発達発育状況を、保護者に伝達すると共に、職員に周知し、保育に反映させている。	○ a · b · c
1-(2)-③ 歯科検診の結果を、保護者に伝達すると共に、職員に周知し、保育に反映させている。	○ a · b · c
<p>コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年2回健康診断を実施。その間には年齢に応じて、ぎょう虫検査・尿検査が行われている。健康診断結果のお知らせをクラス担任が記載し、保護者に伝達している。健康診断の際、アレルギーの疑いがある等の場合には、保護者へ相談し、医療機関へ受診を促している。 ・年1回歯科検診を実施。また、2歳児以上は歯科衛生士により、ブラッシング指導を受けている。歯科検診の結果のお知らせで、保護者に伝達している。 ・健康診断・歯科検診ともに、看護師とクラス担任が立ち会って子どもの状態を把握している。 	

	第三者評価結果
1-(2)-④ 食事を楽しむことができる様々な工夫を行っている。	○a・b・c
1-(2)-⑤ 子どもの成長過程における喫食状況等を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	○a・b・c
1-(2)-⑥ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	○a・b・c
1-(2)-⑦ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、家庭や専門医等と連携し、子どもの状況に応じ、適切な対応を行っている。	○a・b・c
<p>コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・畑で収穫した野菜を給食に取り入れ、食事の時には音楽をかけるなどの工夫をしている。 ・年1回佐世保市の栄養士が訪問し、全児に向けて紙芝居をしている。 ・3ヶ月に1回、佐世保市立の保育所の調理師が集まり、3ヶ月分の献立を作成している。ハンバーグやグラタン等は極力手作りしている。 ・喫食状況や好き嫌いを担任と相談する、調理師が食べている様子を見てまわる等して、献立作成や調理に反映している。 ・毎月調理師が、「ぱくぱく通信」（食や調理方法をアドバイスしている）を保護者へ配布している。 ・年1回試食会を実施している。毎回好評とのことである。 ・入所時にアレルギーの有無を保護者へ必ず聞き、専門医の指導の下、除去食を提供している。 ・除去食対象の子どもは、半年に一度診断書を再度提出してもらっている。今までに、除去食が不要になった子どももいたとのことである。 	

1 - (3) 保育環境	第三者評価結果
1-(3)-① 子どもが心地よく過ごすことのできる換気、温度、採光等の環境を整備している。	a・(b)・c
1-(3)-② 生活の場に相應しい、人、物、場が相互に関連し合う環境とする取り組みを行っている。	(a)・b・c
<p>コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各クラスには冷暖房、1歳児クラスには床暖房を設置している。また、全てのクラスに温度計が設置され、エアコンの温度調節を担当が確認しながら適温に保たれている。 ・0～1歳児の子どもが多いが、児童数に対しトイレの数が十分ではなく、時間差でトイレへ誘導しているとのことである。また沐浴室が、0歳児クラスから離れている為、不十分であるとの自己評価であった。今後の対応が望まれる。 ・眠くなった時には折りたたみ式ベットで、安心して眠ることができる。 ・園庭は十分な広さがあり、外遊びから入室の際には、お湯で手足を洗う習慣が浸透している。 	

1-(4) 保育内容	第三者評価結果
I-(4)-① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている。	○a・b・c
I-(4)-② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。	○a・b・c
I-(4)-③ 子どもが自発的に活動できる空間、時間、物等の環境が整備されている。	○a・b・c
1-(4)-④ 身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている。	○a・b・c
1-(4)-⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている。	○a・b・c
1-(4)-⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	○a・b・c
<p data-bbox="209 730 336 763">コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="177 797 1461 875">・「嫌な事があったらちゃんと言ってね」など声をかけ、自分から意見を言い出せない子どもには、保育士から声をかけて、子ども一人ひとりの気持ちを引き出している。 <li data-bbox="177 909 1461 987">・「兄が休みでぐずっている子を見守る」等、週案の反省には子ども一人ひとりの気持ちを大切に作る姿勢が伺える。 <li data-bbox="177 1021 1461 1122">・指導計画に、「遊びを見守り、時に励ましたり声かけたりしながら、発展していくように配慮する」と記載されている。訪問調査日、寒い時期にも関わらず、戸外で元気に遊ぶ子どもの姿が印象に残った。 <li data-bbox="177 1155 1461 1256">・3歳児以上は、自由時間に塗り絵・粘土遊びなど自分が好きな遊びができるようにしている。また担任は、希望に応じて読み聞かせや紙芝居を行っている。0歳児クラスは合併後に開始した為、玩具の種類が少なく、少しずつ増やしているとのことであった。 <li data-bbox="177 1290 1461 1391">・隣接する幼稚園・近くの小学校とはよく交流し、年長児は消防署見学・焼き物の絵付け体験等に参加している。また、年1回全児対象に地域の「読み聞かせの会」が来園している。 <li data-bbox="177 1424 1461 1503">・訪問調査時に、3歳児クラスでは「はり絵」（好きな写真を1枚の紙に貼る）をしており、子どもが自由に表現する子どもの姿が印象に残った。 <li data-bbox="177 1536 1461 1615">・3歳児は、食前・食後の挨拶、4～5歳児は机拭き、食後の片付け等当番活動を行っている。 	

		第三者評価結果
1-(4)-⑦	子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している。	(a) b・c
1-(4)-⑧	性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。	(a) b・c
<p>コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年1回の育児講座の際に外部から講師を招き、保護者に対し子どもの人権について等話をしている。 ・子どもたちへは、絵本・紙芝居などで「命の大切さ」「やさしさ」を教えている。 ・米軍が訪問し、クリスマス会・もちつき大会に参加している。 ・髪型や好きな色など、性別による固定的な植え付けをしないようにしている。 		

		第三者評価結果
1-(4)-⑨	乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	(a) b・c
<p>コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳児クラスは、なるべく出産経験がある保育士を受け持つ配慮をしている。 ・SIDSに関するポスターを掲示し、乳児クラス担任には特にSIDSに関しての知識を何度も周知をしている。また、昼寝の際には必ず保育士が乳児から目を離さないようにしている。 ・離乳食は、家庭と給食担当、担任とで連携をとっている。離乳食への移行時には、特にアレルギーに関して注意を払っている。 		

<p>1-(4)-⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、乳幼児が安心して生活できるよう、保育の内容や方法に配慮がみられる。</p>	<p>Ⓐ b・c</p>
<p>コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎日平均10名前後が延長保育を利用しており、夕食に差し支えない程度の軽食が準備されている。 ・クラス担任から延長保育担当者への引継ぎは、漏れがないよう確実に行っている。 ・迎えにくる保護者が替わる場合には、事前に連絡するようにと保護者へ伝えている。もし連絡もなく別の方が迎えにきた場合には、必ず保護者へ連絡し、確認をとっている。 	
<p>1-(4)-⑪ 障害児保育のための適切な環境が整備され、障害のある子どもへの関わりなどが保育計画の中に位置付けられ、保育の内容や方法に配慮がみられる。</p>	<p>Ⓐ・b・c</p>
<p>コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度までは障がいのある子どもがおり、個別計画を立て保育士がつきっきりで対応をしていた。 ・今年度は障がいのある子どもはいないが、ことばが気になる子が目立つため、講師を招いて育児講座を実施し、保護者から個別に相談があった場合には、「ことばの教室」（遊びを通して、ことばについて学ぶ）を紹介している。 	

A-2 子育て支援

2-(1) 入所児童の保護者の育児支援	第三者評価結果
2-(1)-① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている。	a (b) c
2-(1)-② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。	a (b) c
2-(1)-③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と、子どもの育ちを共有するための機会を設けている。	(a) b c
<p>コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者との日常的な情報交換は登所時に行い、問題と思われる内容については担任を含めて対話を心がけている。個別面談を呼びかけたが希望者はほとんどいないとのことであった。子育て環境は大きく変化してきており、個別面談の潜在的なニーズはあると思われる。日常的な情報交換から信頼感が増すことにより、個別相談の事例も今後増加すると期待される。 ・家庭の状況に変化があった場合は、「児童の記録」に記録をしているが、どのような内容を残さないといけない等の基準を設けていない。今後書き方を含め、記録に関する研修を実施していくとのことである。 ・七夕やもちつき大会時に呼びかけると祖父母も一緒に参加があり、子供の育ちが実感出来ると好評である。さらに、入退所式後、育児講座後に懇談会を実施しており、子どもの発達の不安・夜泣き等の相談がある。 	
2-(1)-④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている。	(a) b c
2-(1)-⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、こども・女性・障害者支援センターなどの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。	(a) b c
<p>コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童虐待には、職員全体で気配りを行っており、身体的虐待の事例はないとのことであった。しかし、言葉の暴力と思われる事例があり、所長には報告済であった。万が一虐待が疑われる場合には、所長から子ども育成課長と子ども子育て応援センター（市の保健師）その後、こども・女性・障害者支援センターへと連絡する体制がとられている。 	

2-(2) 一時保育等の子育て支援		
2-(2)-① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。		a・b・c
コメント ・未実施の為、評価せず。		
2-(2)-② 育児相談など地域の子育て家庭を対象とする子育て支援のための取り組みが行われている。		a・b・c
コメント ・未実施の為、評価せず。		
2-(2)-③ 保育所での育児相談に当たって、関係機関や団体などと連携した取り組みを行っている。		Ⓐ・b・c
コメント ・主な関係機関として市役所・子ども発達センターなどがあり、常に連携をとっている。 ・四水会（佐世保市内の公立・私立の保育士や幼稚園教諭等が集まり、事例検討を出し合う研修）に自主的に参加して情報を収集している。		

A-3 安全・衛生・事故防止

		第三者評価結果
3-(1) 安全・衛生・事故防止		
3-(1)-① 防災に関するマニュアルが整備されており、その対応方法について、全職員に周知されている。		a (b) c
<p>コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年、他の市立保育所でぼやがあり、子どもの避難はできたが、消防局への通報が遅れた事があった。その後、通報マニュアルの見直し（以前は所長が通報も避難誘導をするようになっていたのを、通報担当・避難誘導担当とに分ける）を行っている。 ・毎月避難訓練を行っているが、職員の入れ替わりが多いため、全職員が確実に消防署へ通報できるか分からないとの自己評価であった。マニュアルに沿った対応が確実に行われるよう、マニュアルの内容を職員へ再確認するなどの対応が求められる。 		
3-(1)-② 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルが整備されており、その対応方法について、全職員に周知されている。		a (b) c
3-(1)-③ 安全を確保するための施設、設備上の工夫がなされている。		a (b) c
<p>コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不審者・いたずら事案・交通事故等通報マニュアルを整備し、警察と連携して研修が行われた。しかし、職員の入れ替わりがあり、全職員への周知は万全ではないようである。 ・佐世保市との合併後、監視カメラを2台設置、さすまたを購入する等不審者侵入への対策をおこなっているが、園自体が開放的であるため、不審者侵入のリスクはある。門扉の設置を予定しているが、今後もハード面での対策が必要だと思われる。 		

3-(1)-④ 衛生管理に関するマニュアルが整備されており、その対応方法について、全職員に周知されている。	a・ b ・c
3-(1)-⑤ 食中毒の発生時に対応できるマニュアルが整備されており、その対応方法について、全職員に周知されている。	a・ b ・c
<p>コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 消毒液の濃度・手洗いで気をつけることなどは、園内の壁面に掲示され、必要なことは市役所から連絡がある。 ・ ノロウィルスについての掲示や、給食室の食品衛生自主管理記録表（給食室内のチェックリスト）はあり、食中毒が発生しやすい季節には、市役所から連絡がある。 ・ 衛生管理に関すること、食中毒の発生時に対応できることの対応方法については、職員の入れ替わりが多い為、全職員へ周知が難しいとの自己評価であった。時々、保育士へマニュアルの内容をチェックして、周知されているか確認することも必要であると思われる。 	

	第三者評価結果
3-(1)-⑥ 感染症防止に関するマニュアルが整備されており、その対応方法について、全職員に周知されている。	a (b) c
3-(1)-⑦ 感染症発生時に対応できるマニュアルが整備されると共に、その対応方法が全職員に周知されており、発生状況が保護者、全職員に通知されている。	a (b) c
<p>コメント</p> <p>・看護師が毎月ほけんだよりを発行し、病状に先駆けての症状や観察点等の情報を提供をしている。ノロウイルスに関する予防・発生時の対応マニュアルは、園内に掲示しているが、その他の感染症についてのマニュアルは不十分であり、その整備や研修（臨時職員やパートを含む）等が求められる。</p>	
3-(1)-⑧ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取組を行っている。	(a) b c
3-(1)-⑨ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルが整備されており、その対応方法について、全職員に周知されている。	a (b) c
3-(1)-⑩ 発生した事故並びに事故につながりそうな事例を全て把握するための組織的な取り組みが行われている。	a (b) c
<p>コメント</p> <p>・遊具点検表に基づき、所長・主任・遅出の職員が交代で週1回点検をしている。老朽化の為、危険と判断した遊具は使用禁止として撤去する予定である。</p> <p>・事故や災害発生時対応マニュアルは整備されているが、職員が入れ替わる為、全職員の周知が難しい。例えば、配布や回覧したマニュアルの内容を質問したりテストする等内容が全職員に周知できているかを確認することも必要だと思われる。</p> <p>・ヒヤリハットの事例は記録として残され、職員間で検討がなされているが、事例の収集は十分ではないとのことである。現在記録用紙の簡素化を図っており、情報収集と対応方法についての検討をより細やかに、事故防止につなげて頂きたい。</p>	